

令和8年度「シラバス」 教科：工業 科目：実習

単位数	4	学科 (型) 学年	電気システム科 3 年 (電気型)	教科書 副教材等	自作テキスト
学習目標		電気実習に関する基礎的な知識・技術を習得する。また、構造やしぐみに関する学習を通して電気の基礎的な理解を深め、電気に関する実習の基礎を学び多方面で活用する能力を高める。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	電気機器実習 電子工学実習 シーケンス実習 溶接実習			○電気機器について、原理・構造・特性を実験を行いながら学習し習得する。 ○電子実習の基礎を学ぶ。また、電子工学の基礎知識・技術を習得する。 ○結線図をよく見て概要をつかんでから図面に従って接続し、間違った点がないか確かめ理解する。また、自ら考える姿勢を持つ。 ○シーケンス制御の基礎知識を理解するとともに、自ら考え制御する回路の設計をし、シーケンス制御に対する基礎的な力を身に付ける。 ○アーク溶接の取り扱いを習得するとともに基本作業を身に付ける。	
2					
3					
評価の観点		内 容			
知識・技術		・計器類、器具類を正しく接続して、正しく操作することができる実技を身に付けている。 ・作品製作にあたっては道具を適切に使用し、目的のものを作り上げることができる技能を身に付けている。			
思考・判断・表現		・各実習項目について理論・原理及び操作方法・結線の方法が、正しいかどうか判断し、実験データが理論的に適合しているかどうか検討できる。			
主体的に学習に取り組む態度		・学習意欲、学習態度、学習に取り組む姿勢、工業に関する基礎的・基本的な技術や技能に興味・関心を持って積極的に行動できる。			
評価方法	中間・期末考査は実施せず、実習中の意欲・関心や技術・技能そして報告書における表現力について総合的に評価する。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 実習は、とても重要な科目の一つである。実験等に積極的に取り組み自ら考える姿勢を持ち続けること。 ○ 進んで実習に取り組む、分からないところはその日のうちに解決すること。					